

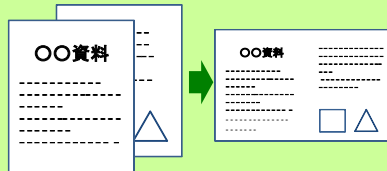
紙ごみの減量・リサイクルで

コスト削減 & 環境にやさしいことをしませんか

事業所からは多くの紙ごみが排出されています。紙ごみの減量・リサイクルは、可燃ごみの減量、ごみ処理コストの削減にもつながります。できることから取り組みましょう！

ポイント① 発生抑制

- 裏紙を再利用する
- 両面印刷、2アップ印刷の励行
- 電子化によるペーパーレス化の推進
- 梱包材の削減
- マイカップの持参



例：裏紙専用の分別箱や印刷トレイを用意する



ポイント② 分別・リサイクルの徹底

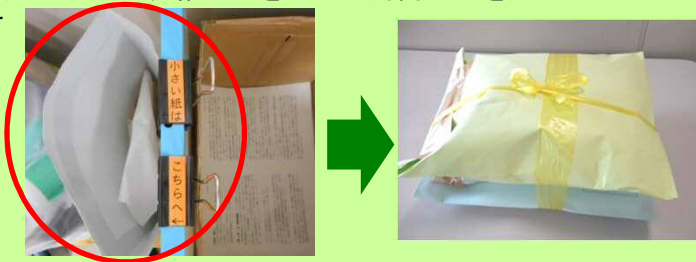
- 新聞、OA紙のほか、メモ紙や付せん、名刺、包装紙、お菓子の空き箱などもリサイクルできます



ビニール製の窓あき封筒も窓の部分を取り外せばOKです

排出例

ごみ箱の近くなどに、雑がみをいれる封筒などを用意しておくとう便利です



回収業者により、回収できる古紙の種類や分別方法が違います。引取契約の際に、回収業者と分別方法の確認をお願いします。

- シュレッダー紙も多くの場合リサイクルできます



注意 資源にならない紙
(可燃ごみとしてお出してください)

- ・感熱紙 (FAX用紙、レシートなど)
- ・カーボン紙 (領収証、宅配便の伝票など)
- ・使用済みティッシュ、油・食品で汚れた紙
- ・防水加工された紙 (ヨーグルトの紙製容器、紙コップなど)
- ・捺染紙 (アイロンプリント紙、カバンや靴の詰め物 (緩衝材) など)
- ・感熱性発泡紙 (点字印刷物など)
- ・においのついた紙
- ・写真、アルバム台紙
- ・窓あき封筒のセロファン
- ・粘着テープ、シール (台紙含む)
- ・中が銀色 (アルミ) 飲料用紙パック など

ポイント③ 機密書類のリサイクル

- 環境にやさしいリサイクルは、事業所のイメージアップにつながります
- 処理方法の例 (詳しくは取扱事業者へお問い合わせください)

書類が入った段ボールごと溶解処理

古紙業者備え付けのシュレッダー機で裁断→溶解

※処理方法や機密を保持する方法は取扱事業者によって異なります。自社の規定にあった事業者をお選びください。

処理方法によっては、焼却処分と同程度の費用でできる場合もあります。

長野市では地球にやさしい事業所を「ながのエコ・サークル」に認定しています



認定された事業所は、環境によい取組を推進している事業所としてPRできます

お問合せ先 長野市環境部生活環境課
Tel : 026-224-5035 / 026-224-7635